

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年9月8日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年9月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【5号機 直流125V蓄電池(B系)の電解液比重の低下について】 直流125V蓄電池(B系)定例点検において、一部蓄電池(全60セルの内の7セル)の電解液比重が基準値より低下していることを確認。当該蓄電池の電解液比重の回復措置を実施するも回復しないため取替え予定。	GⅢ
2	【貯槽タンクJ1-E8水位計指示不良について】 貯槽タンク水位監視盤にて、J1-E8タンクレベル「水位計指示不良」が発生。不具合要因特定のため、バッテリー交換を実施し、水位指示が復帰。 様子見としていたが、後日、再度「水位計指示不良」が発生。水位計本体側に問題があることが判明したため、水位計の交換を実施予定。	GⅢ
3	【免震重要棟前駐車場における車両接触について】 免震重要棟前駐車場において、協力企業作業員が大型車両を運転し、発進時に駐車車両に接触した。人身災害はなし。 また、発生後、復旧班長への連絡までに約4時間かかったため、復旧班長までの速やかな連絡を再徹底する。	GⅢ